

航

四年
回数 10
筆順
オン
コウ

成り立ち



人が両手を広げて、両足をふんばって、あい手に「はむかう（抵抗する）」ことを表した「亢」と、舟の形を表した「舟」とを組み合わせて作った字です。

「川の流れに抵抗して舟を進める」ことを表した字です。水の流れにかんけいなく「舟を進める」ことを表した字です。例航行、航海、航路。

また、飛行機で空を飛ぶことを表すのにも使われるようになりました。例航空（機）、航空路。

使い方

▽「アラビアン・ナイト」という物語を読んだことがありますか。「千夜一夜物語」ともいいます。「アラジンとふしぎなランプ」や「シンドバットの航海」などのお話が入った本です。シエラザードという女の人が、千と一夜かかって話した物語だから、「千夜一夜物語」というのです。とても、おもしろい本ですよ。

▽ぼくは、まだ航空機に乗ったことがありません。いつか航空機に乗って、外国へ行ってみたいと思います。

熟語例

▽航行（船が、海や川を行くこと。「航行中、台風に会って、大変な思いをした」などというふうに、つかいませ。）

▽航海（船で海をわたること。）

▽航路（船や航空機が通って行く路すじ）

▽航空機（飛行機や飛行船など、空を飛ぶ機械のこと。）

▽航空路（航空機が通っていく路すじ）

使い方

▽健康は第一の宝です。勉強をするのも遊ぶのも、健康であればこそ、できるのですから。

▽おばあちゃんが病気にかかりました。一時は重症だったのですが、幸いに、今は小康状態にあります。

熟語例

▽安康（安らかで、平和であること。「国家安康を祈願する」などというふうに、つかいます。）

▽健康（体がじょうぶで、健やかなこと。）

▽小康（どうにか健やかなこと。世の中が、どうにか平和であることとか、病気で少しよくなって、どうにか健康を保っていることなどに、つかいます。）

康

四年
回数 11
筆順
オン
コウ

成り立ち



家の形を表した「广」と、「手にきねを持った形」を表した「キ」と「米」とを組み合わせて作った字です。「家の中に、ついて食べられる米があつて、生活が「安定」している」ことを表した字です。むかしは、米のあるなしが一番気がかりでしたから、米があれば「安心」していられた。「安定」していること。「安心」していること。「安らか」なことです。例安康、小康。

また、「体が「健やか」なこと」の意味に使います。例健康、小康。